

環境経営レポート

2024年度
(2024年1月～2024年12月)



● 組織の概要と対象範囲	1 ページ
● 環境経営方針	2 ページ
● 実施体制と担当役割	3 ページ
● 環境経営目標	4 ページ
● 環境経営目標の実績	5 ページ
● 環境経営計画の取組結果とその評価	6 ページ
● 次年度の環境経営計画の取組内容	7 ページ
● 次年度の環境経営目標	8 ページ
● 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	9 ページ
● 代表者による全体評価と見直しの結果	9 ページ

2025年1月24日 発行

株式会社 エイム

東京都町田市野津田町34-1

組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名	
事業所名	株式会社 エイム
代表者	代表取締役 堀 良輔
設立	1985年10月
資本金	100万円

(2) 所在地
〒195-0063 東京都町田市野津田町34-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	
環境管理責任者	板谷 謙二
環境管理室	
担当者	篠原 小巻 E-mail shinohara@aim-genki.com
連絡先	電話 042-708-9407 FAX 042-708-9417

(4) 事業活動の内容
プリント基板の表面実装・ディップ・BGA/CSPのリワーク・リボール
X線検査・その他あらゆる実装を手掛けています。

(5) 事業の規模						
主要製品：各種メモリ製品の生産						
活動規模	(基準)	(実績)	(計画)	(計画)	(計画)	(計画)
年度(1月～12月)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
従業員数 (人)	23	23	23	23	23	23
延床面積 (m ²)	614	614	614	614	614	614

対象範囲(全組織・全活動)

(1) 認証・登録対象組織
(本社) 東京都町田市野津田町34-1
(2) 認証・登録対象活動
電子部品のプリント基板実装組立

環 境 経 営 方 針

企業理念

株式会社エイムは安心して生活できる地球環境を目指し、資源の有効活用と環境汚染の予防に取り組み、継続的に環境への負荷を低減する活動を全従業員が積極的に実施し、“地球環境にやさしいモノづくりの拠点”の実現を目指します。

行動指針

電子部品のプリント基板実装組立に伴う環境への負荷を低減するため目標を定めて継続的に環境経営活動を改善します。

特に次の事項は優先的に取組みます。

- ①省エネルギー化を推進します
- ②廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出抑制に努めます
- ③製造品質の改善に努めます
- ④節水に努めます
- ⑤化学物質の取り扱い管理を徹底します

環境関連法規や当社が同意するその他の要求事項を順守します。

地域住民の皆様との環境コミュニケーションに積極的に取組みます。



2007年 8月 1日 制定

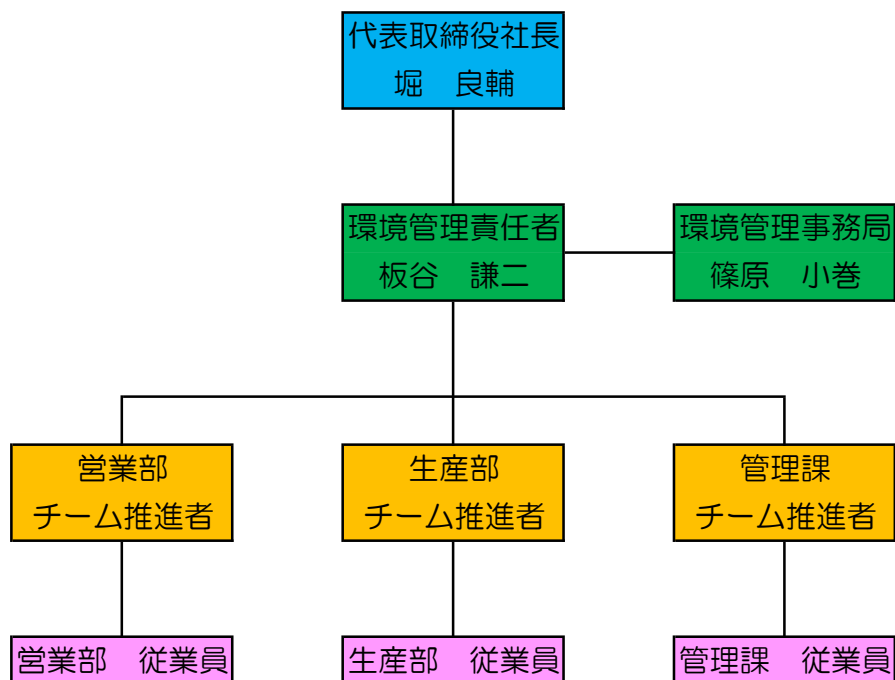
2020年 9月 1日 改訂

株式会社エイム

代表取締役

堀 良輔

実施体制



担当役割

代表取締役社長

- ・ 総括、環境経営システム・緊急事態発生時等
- ・ 課題とチャンスの明確化
- ・ 経営資源の準備
- ・ 環境経営方針の策定
- ・ 全体の評価と見直し・指示

環境管理責任者

- ・ 環境システムの構築・運用・維持・社長への報告
- ・ 環境関連法規等の順守評価・見直し
- ・ 環境目標・活動計画の策定・見直し
- ・ 中間審査・更新審査の受審査

チーム推進者

- ・ 代表取締役、環境責任者の指示・命令を伝達
- ・ 自部門の環境経営システムの運用、維持
- ・ 教育訓練、緊急事態への準備および対応、是正処置

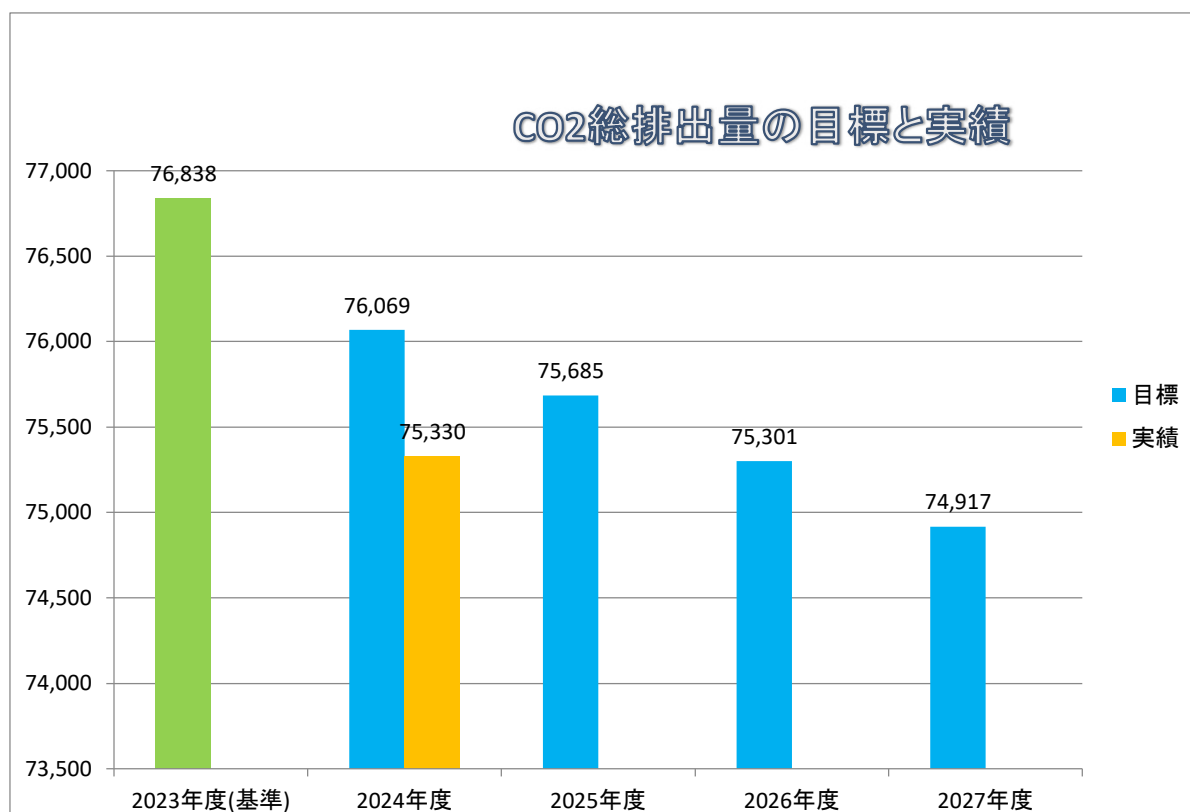
各部 従業員

- ・ 環境経営方針、環境活動計画等の取り組みへの遂行
- ・ 環境関連法規等の順守
- ・ 社会貢献

環境経営目標

項 目		単位	2023年度 (基準)	2024年度 (目標)	2025年度 (目標)	2026年度 (目標)	2027年度 (目標)
①省エネルギー化推進	CO2総排出量	kg-CO ₂	76,838	76,069	75,685	75,301	74,917
	削減率	%	基準	1.0	1.5	2.0	2.5
	電力使用量	kWh	130,381	129,077	128,425	127,773	127,121
	削減率	%	基準	1.0	1.5	2.0	2.5
	CO2排出量	kg-CO ₂	61,540	60,924	60,617	60,309	60,001
	ガソリン使用量	ℓ	6,591	6,525	6,492	6,459	6,426
	削減率	%	基準	1.0	1.5	2.0	2.5
②廃棄物排出抑制	CO2排出量	kg-CO ₂	15,298	15,145	15,068	14,992	14,915
	削減率	%	基準	1.0	1.5	2.0	2.5
③節水	廃棄物排出量	t	4.21	4.17	4.15	4.13	4.10
	削減率	%	基準	1.0	1.5	2.0	2.5
④化学物質取扱管理	総排水量	m ³	114	112	112	112	112
	削減率	%	基準	0	0	0	0
⑤資源リサイクル	リダクション	kg	60	60	60	60	60
	増加率	%	基準	2	4	6	8

注) 購入電力の二酸化炭素排出係数 0.472kg-CO₂/kWh
ガソリンの二酸化炭素排出係数 2.321t-CO₂/kℓ
化学物質はP R T R物質を使用しませんが、取扱量管理を目標とします。

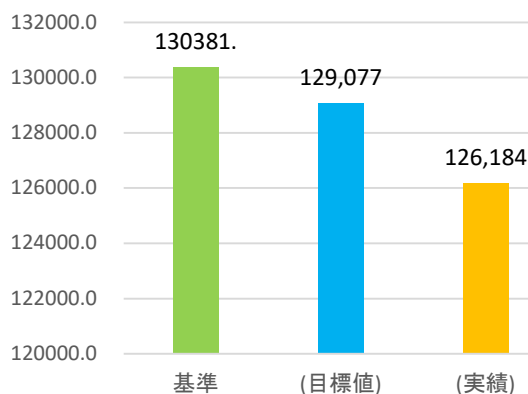


環境経営目標の実績

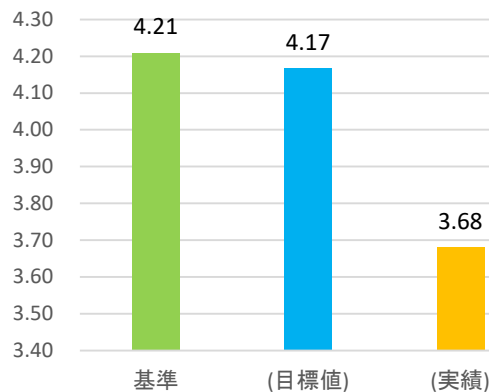
2024年度の実績

項 目		単位	2023年度 (基準)	2024年度 (目標値)	2024年度 (実績)	評価	評価・対策 ※目標値比較
①省エネルギー化 推進	CO2総排出量	kg-CO ₂	76,838	76,069	75,330	○	目標値より削減
	削減率	%	基準	1.0	1.9	○	
	電力使用量	kWh	130,381	129,077	126,184	○	目標値より削減
	削減率	%	基準	1.0	3.3	○	
	CO2排出量	kg-CO ₂	61,540	60,924	59,559	○	営業機会増大による移動増加
	ガソリン使用量	ℓ	6,591	6,525	6,795	×	
	削減率	%	基準	1.0	▲3.0	×	
②廃棄物 排出抑制	CO2排出量	kg-CO ₂	15,298	15,145	15,771	○	目標値より削減
	削減率	%	基準	1.0	12.6	○	
③節水	廃棄物排出量	t	4.21	4.17	3.68	○	目標値より削減
	削減率	%	基準	1.0	12.6	○	
④化学物質 取扱管理	総排水量	m ³	114	112	111	○	目標値より削減
	削減率	%	基準	1.7	2.6	○	
⑤資源リ サイクル	リタ [®] -ハ [®] -スト	kg	60	60	43	○	適切に管理されている
	増加率	%	基準	2.0	2.0	○	

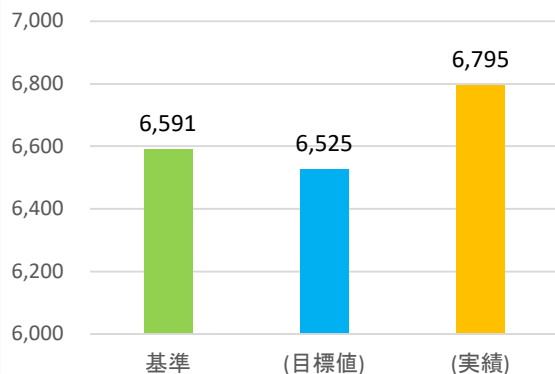
電力使用量(単位kWh)



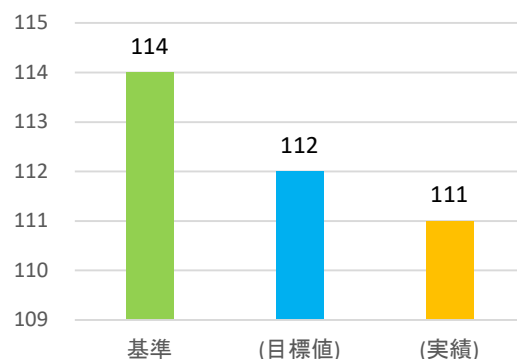
廃棄物排出量(単位t)



ガソリン使用量(単位ℓ)



総排水量(m³)



環境経営計画の取組結果とその評価

環境経営計画（2024年1月～12月）

環境経営計画		取組結果 90%以上◎ 90%未満▲	
①省エネルギー化推進	担当者	結果	実施事項の評価
生産準備の前段取り	鈴木	◎	スムーズに前段取りができロスが無かった
エアコンの温度・消し忘れ	全員	◎	全員に周知徹底できている
扇風機を利用し空調調節	全員	◎	4台を効果的に使用した
昼休みの消灯	全員	◎	全員に周知徹底できている
クールビズ・ウォームビズ	全員	◎	全員に周知徹底できている
自販機を節電型へ	堀	◎	1台のまま継続
コピー機の節約注意啓蒙	堀	◎	全員に周知徹底できている
会議資料の配布物削減	全員	◎	全員に周知徹底できている
印刷プレビューの実施	全員	◎	全員に周知徹底できている
エコドライブ	全員	◎	全員に周知徹底できている
②廃棄物排出抑制	担当者	結果	実施事項の評価
社内配布物は裏紙	全員	◎	全員に周知徹底できている
廃棄物の分別	全員	◎	全員に周知徹底できている
段ボール、紙のリサイクル	全員	◎	全員に周知徹底できている
金属、廃プラのリサイクル	全員	◎	全員に周知徹底できている
基板、端材のリサイクル	全員	◎	全員に周知徹底できている
通箱の有効利用	全員	◎	全員に周知徹底できている
梱包材の再利用	全員	◎	全員に周知徹底できている
マイ箸運動	全員	◎	全員に周知徹底できている
③節水	担当者	結果	実施事項の評価
生活水の節水	全員	◎	節水推奨の掲示等
④化学物質取扱管理	担当者	結果	実施事項の評価
化学物質の使用量削減	古家	◎	全員に周知徹底できている
⑤資源リサイクル	担当者	結果	実施事項の評価
半導体リユース	古家	◎	全員に周知徹底できている

次年度の環境経営計画の取組内容

前年度の取組結果を踏まえ、さらに全員への周知とマンネリ化打開の工夫が必要と思われますので、掲示物の作り変えなども含め一新し、継続していきます。

次年度の取組み内容	責任者	工夫と注意点
①省エネルギー化推進		
生産準備の前段取り	鈴木	さらに短縮の目標設定
エアコン温度・消し忘れ	鈴木	タイマーを必ず設定する
扇風機を利用し空調調節	古家	継続する
昼休みの消灯	古家	継続する
クールビズ・ウォームビズ	堀	継続する
自販機を節電型へ	堀	継続する
コピー機の節約注意啓蒙	堀	朝礼で毎日 全員に周知徹底する
会議資料の配布物削減	堀	継続する
印刷プレビューの実施	堀	朝礼で毎日 全員に周知徹底する
エコドライブ	志村	継続する
②廃棄物排出抑制		
社内配布物は裏紙	篠原	継続する
廃棄物の分別	堀	継続する
段ボール、紙のリサイクル	堀	継続する
金属、廃プラのリサイクル	高橋	継続する
基板、端材のリサイクル	嶋崎	継続する
通箱の有効利用	白武	取引先と話し合いが必要 一部運用開始
梱包材の再利用	板谷	梱包材の使用削減に努める
マイ箸運動	堀	置き箸の徹底
③節水		
生活水の節水	堀	継続する
④化学物質取扱管理		
化学物質の使用量削減	古家	取り扱い量の管理強化
⑤資源リサイクル		
半導体リユース	古家	受注活動を継続する

次年度の環境経営目標

項 目		単位	2023年度 (基準)	2025年度 (目標)	2026年度 (目標)	2027年度 (目標)	2028年度 (目標)
①省エネルギー 化推進	CO2総排出量	kg-CO ₂	76,838	75,685	75,301	74,917	74,917
	削減率	%	基準	1.5	2.0	2.5	2.5
	電力使用量	kWh	130,381	128,425	127,773	127,121	127,121
	削減率	%	基準	1.5	2.0	2.5	2.5
	CO2排出量	kg-CO ₂	61,540	60,617	60,309	60,001	60,001
	ガソリン使用量	ℓ	6,591	6,492	6,459	6,426	6,426
	削減率	%	基準	1.5	2.0	2.5	2.5
	CO2排出量	kg-CO ₂	15,298	15,068	14,992	14,915	14,915
②廃棄物排出抑 制	廃棄物排出量	t	4.21	4.15	4.13	4.10	4.10
	削減率	%	基準	1.5	2.0	2.5	2.5
③節水	総排水量	m ³	114	112	112	112	112
	削減率	%	基準	0	0	0	0
④化学物質取扱 管理	リクダ -ハ -スト	kg	60	60	60	60	60
⑤資源リサイク ル	半導体リユース	百万円	50	52	53	54	54
	増加率	%	基準	4	6	8	8

注) 購入電力の二酸化炭素排出係数 0.472kg-CO₂/kWh
ガソリンの二酸化炭素排出係数 2.321t - CO₂/kℓ
化学物質はP R T R物質を使用しません、取扱量管理を目標とします。
電気使用量ガソリン使用量は、営業機会増加を予想し、2023年度実績値を
基準とします。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用される主な環境関連法規等は下記に示すとおりで遵守状況を確認しました。

主な環境関連法規等

適用環境関連法規等	適用される事項（施設、物質、事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃油等）
消防法（危険物）	危険物
RoHS指令（有害物質使用制限）	ソルダーペースト
自動車リサイクル法	営業車
下水道法	生活用排水
東京都火災予防条例	危険物
労働安全衛生法	有機溶剤

◎上記法規等改定状況並びに遵守状況を確認し問題ありませんでした。

(2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟等の有無はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

(3) 外部からの環境に関する苦情及び要望の有無

外部からの環境に関する苦情及び要望はありませんでした。

(4) 苦情・要望があった場合にはその対応

無し

代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

ガソリン使用量に関しては若干目標を超えてしまったが、全体的にはCO2総排出量は大きく削減することができ、活動の成果はあったと思われる。

(2) 見直しの結果

環境方針はこのまま継続する。

今年も営業車の移動量は前年同程度と見込まれるので、エコドライブをより推進するために、燃費を把握し改善度を確認していく。

その他

環境関連法規等の遵守・外部からの環境に関する苦情や要望については、問題は起きていませんが、引き続き法規制・システムの改善に心がけ環境活動を続けていかなければならない。